



富士吉田プロジェクト 魅力ある街のデザイン調査研究

- ・2007年、慶應義塾と富士吉田市が連携協定を締結し、産学官連携や人材・創造力の育成を行い、地域の持続的発展のための研究が進められる。
- ・2011年より慶應義塾大学SFC中島直人研究室では富士吉田市の「御師まち」を中心としたエリアを対象として地域資源の調査と将来における整備構想の立案、市民との価値の共有に取り組んできた。



体制



中島直人准教授
大学院生
学部生

田中大郎建築設計事務所
トータルメディア開発研究所



富士吉田市 水越欣一氏
富士吉田市まちづくり戦略課の皆さま

新メンバー募集！

興味がある方は宮下(D1)まで。
miyashita@ud.t.u-tokyo.ac.jp

座鎮田吉足打地福郡留郡南國支甲
圖全内境社神嶽士富宮本口北山士富

富士浅間神社

御師まち

富士講信者が登山を前に身を清め宿泊するための「御師の家」が数多く建ち並んでいた

富士山北口本宮富士嶽神社境内全図(1892)

明治二十五年十月 日印刷舎年令月 日出版

画作並印刷發行者

東京市浅草区北千住二丁目 青山 遊豆太郎

富士嶽神社境内

対象地

上吉田(御師まち)



富士みち



日本三奇祭一吉田の火祭り



旧外川家住宅



ヤーナ川



火の見櫓



御師の家でお札刷り

慶大生企画、イベント始まる

目的① 御師まちから富士吉田市民の誇りを育みたい
市民の間で、御師まちの歴史・文化資源の認知度が低い。
御師まちの豊かな歴史・文化資源を市民の誇りに繋げたい。



目的③ 138号拡幅を契機に、御師まちのまちづくりを考えたい

138号の拡幅は、御師まちを含む沿道のまちに大きな影響を与える。
単なる道づくりに終わらせず、まちづくりの契機としたい。

地域・回遊性

横断歩道

国道沿いの歩道と一体的に利用できる空間とし、様々なイベントの開催や観光客、登山客の待ち合わせの場としても活用できます。

地域・交流

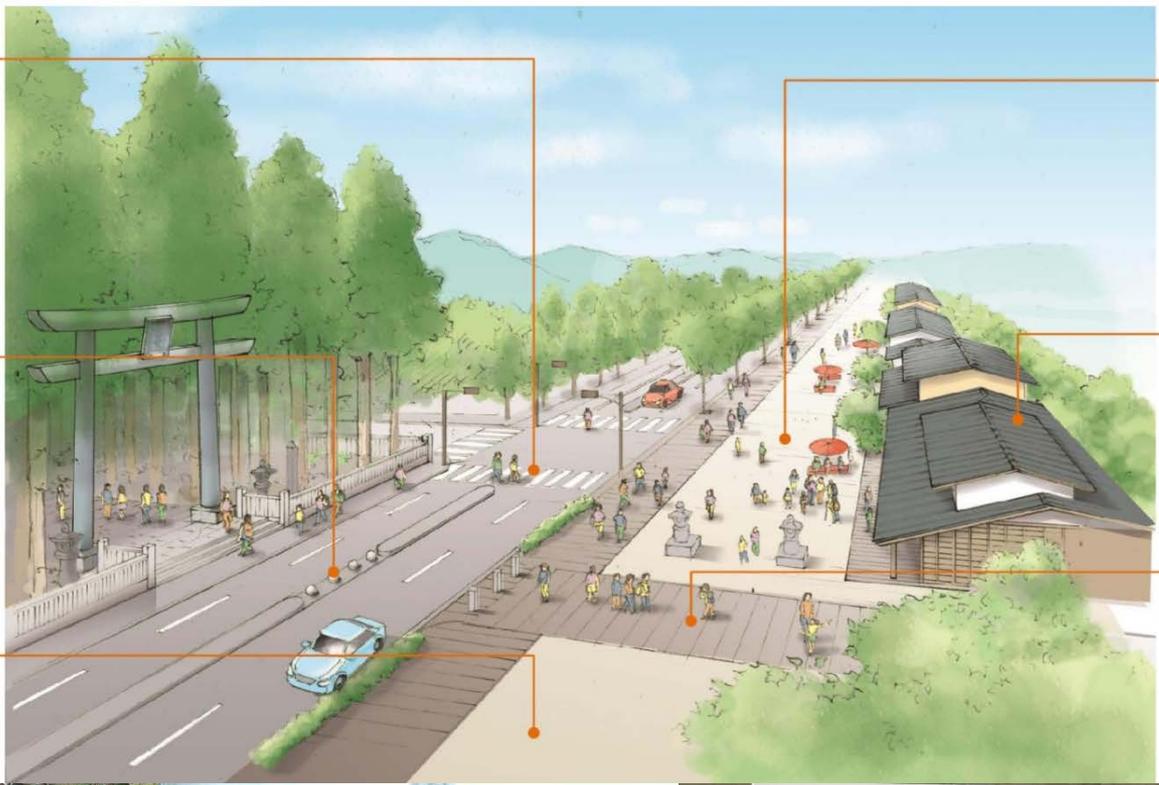
火祭りを配慮した中央分離帯の可能性検討

地域の誇りともいえる「火祭り」。交通の安全性をもとに、火祭りの運営を配慮して、中央分離帯の在り方を国を含めて検討していきます。
(例) 緑石の取外し 等

アメニティ

駐車場

観光客用の駐車場を整備。周辺景観との調和を第一優先に傾斜地を活かした立体駐車場などの可能性も検討していきます。



地域・回遊性

みゆきみち広場（仮称）と国道沿い歩道

国道沿いの歩道と一体的に利用できる空間とし、様々なイベントの開催や観光客、登山客の待ち合わせの場としても活用できます。

歴史・文化・景観

落ち着いた風格のある門前町の街並み

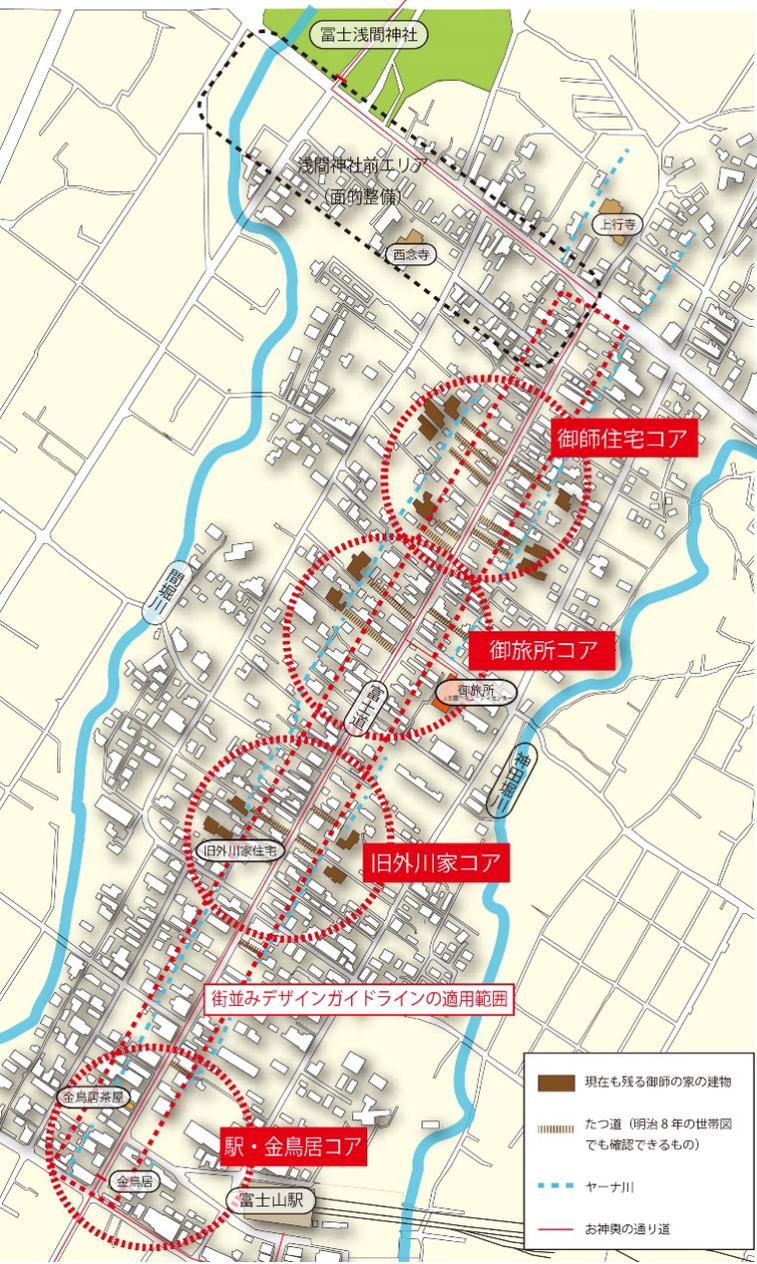
富士吉田や世界遺産など観光に関する情報発信や観光客向けの体験プログラムの開催、飲食物販施設などが入居します。

観光誘客

参道は撮影スポットとなる歩道空間

浅間神社への視線を確保する歩行者優先の参道空間。浅間神社前での撮影スポットとしても活用可能です。





整備構想の3つの方針

- ① 何かを新たに付け加えるのではなく、既存資源を活かし磨く
- ② 街に開き、たがいにつながる場所を生み出していく
- ③ 整備して終わりではなく、その後の利用・運営に重きをおく

富士みちエリアのまちづくりの考え方

富士みち沿道の課題と提案の骨子

- 課題**
- 富士山駅と富士浅間神社との間の距離が長く、単調に感じられる。
 - 数多くの歴史文化資源が存在しているが、顕在化していない鏝物も多く、またお互いに連動した活用がなされていない

歴史的空間構造に現代的価値を見出す

- 提案**
- 富士道沿いの歴史文化資源を核とした4つのエリアに整備を集中し、個性の異なる4つのコアエリアを生み出す。
 - 下宿、中宿、上宿に分散する4つの個性の異なるエリアを通じて、富士みちを歩く楽しみ、誇らしさを提供する。
 - 富士みち沿道全体を対象とした街並みデザインガイドラインを策定し、富士山の前景にふさわしい趣のある落ち着いた街並みを生み出す。

富士みちの4つのコアエリア

御師住宅が集まる伝統的環境の体験コア

たつ道も含めて伝統的な空間構成が比較的維持されている御師住宅が集中している上宿で、御師住宅のオープン活用を促進し、体感可能な伝統的環境を保全、再生、活用していく。

- 伝統的な御師住宅のオープン活用（宿泊含む）を促す
- 浅間神社方向のうらみちへの動線を整備する

御旅所ひろばを中心とした展示・休憩コア

火祭りの際に御旅所として使われる上吉田コミュニティセンターのピロティや駐車場を、火祭り関係の展示空間や御師まちの歴史文化を感じられる広場空間に転換する。

- 上吉田コミュニティセンター及び駐車場の再整備により「御旅所ひろば」をつくる
- ひろばは近くの御師住宅や蔵のオープン活用を促進する

旧外川家住宅を中心とした御師まちコア

御師まちの歴史文化・観光資源のコアである重要文化財・旧戸川家住宅を中心とした一帯で、御師まちの交流拠点にふさわしい環境を整えていく。

- 旧外川家住宅駐車場を御師まちらしい広場の駐車場として整備する
- 「旧戸川家駐車場広場」を取り囲む各種建物のオープン使用を促進する

駅から金鳥居・富士みちへのアプローチコア

富士山駅と金鳥居・金鳥居茶屋（インフォメーションセンター）をつなぐ富士みちの玄関口にふさわしい環境をつくる。

- 上金鳥居公園脇の道をアプローチのメイン動線として歩行者優先空間として整備する。
- 上金鳥居公園を御師まちの玄関口にふさわしい歴史公園として再整備する。
- 上県文化財山口染物店の藍染史料を中心とした展示施設とそこに至るアプローチを整備する。

●富士みちエリアにおける整備構想の立案

＜①地域資源の調査 ②歴史的文脈の把握 ③現状の分析 ④整備構想の立案＞
 ー御師まちにおける地域文脈や歴史文化資源の調査を行い、御師まちの景観や公共空間を魅力的にするための基本的な環境整備の方向性や空間イメージを提示した。

●「魅力ある街のデザイン展」やワークショップの開催

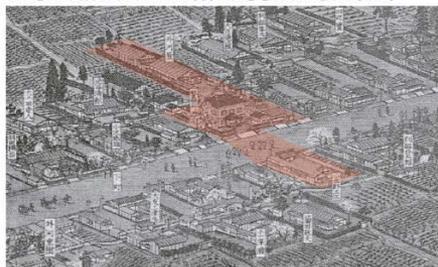
ー地域の方々と御師まちの魅力や課題、可能性を共有するとともに、研究成果や整備構想の発信を行った。

旧外川家住宅コア・広場を中心としたぎわいと自然のコア

旧外川家住宅コア・広場を中心としたぎわいと自然のコア

1 旧外川家住宅コアの歴史的文脈

1892年の「富士山北口本宮富士神社境内全図」には現在も残る外川家住宅や再建が進められている浅間坊が描かれ、現在に至るまでこのエリアにおいて中心的な役割を担ってきたという歴史がある。江戸時代は富士みち沿い以外の土地には田畑が広がっていたが次第に住宅地が広がるようになった。



▲富士山北口本宮富士神社境内全図(1892)
 外川家や浅間坊のほか、現在駐車場になっている敷地には警察署が立地していることがわかる。この土地は町役場や警察署など上吉田の中心としての役割を担ってきたという歴史的文脈が存在する。



◀航空写真(1957)
 旧外川家住宅コア周辺の街路構造は現在ほとんど変わらない。富士みちがエリアの骨格をなす大動脈であったことがわかり、また当時はその集約に広大な田畑が広がっていた。旧外川家住宅のタツミの横には染山が存在していたことをうかがい知ることができ。



◀航空写真(1970)
 住宅地が面的に広がっているという変化が見て取れるが、その分布を見ると裏通りに沿って形成されているのではなく富士みちから奥に伸びている細長い敷地帯にあわせて拡大していることがわかる。土地は細分化され、小さい住宅が密集しているというところがわかる。



◀航空写真(2007)
 住宅地はさらに拡大し、田畑が激減していることがわかる。旧外川家住宅帯にほぼつらなり空地が生まれているのが自立つ。住宅のなかにも建て換えられたものが多く考えられるが、それらの多くは歴史的な敷地帯にあわせて細長い形状をしており、土地の記憶が継承されていると見える。

2 整備構想

旧外川家コアにおいては、旧外川家住宅や浅間坊と薬医門、そしてヤマナ川を結びつける役割として、コアの中心にお休み処と一体化した広場の空間を整備し、人々の憩いの場を創出する。この場所は御師まち散策の新たな拠点となり、周辺の歴史的資源との連続的な動線を生み出すことを目指す。





「まちのデザインを考える」ワークショップ
2015年9月27日
参加者合計46名(上宿、中宿、下宿)



魅力ある街のデザイン展

2015年11月17日～29日

来場者 一日平均約80名(土日のみ計測)

魅力ある街のデザイン シンポジウム

2015年11月23日

基調講演 伊藤香織(東京理科大学)

テーブルトーク 参加者約80名



2016年度に向けて

今後の課題

- 構想、イメージを実現させるための施策スキーム
－ 面的整備の事業手法検討、歴史まちづくり法の活用など
- 民間、市民のボトムアップの動きと連結させる戦略
－ 地権者との勉強会、動き出しつつある地元住民による活動の支援や連携

今年度の活動

実際に進行中の都市計画事業との連携

- 浅間神社前の国道拡幅に伴う面的整備について、地元との勉強会の企画・運営を通じた議論の構築に取り組む
- 再建が進められている浅間坊の活用方針検討

立案した整備構想のブラッシュアップとプロセスデザイン

- 描いた将来像に至る過程における「仮設的まちづくり」の実践



築450年の店舗を改装してオープンした「北口夢屋」

現在保全・再建が進められている「浅間坊」